

盛夏
7.8月

夕暮れにカラスウリの花開くころ。— めぐろのぐやま・鎮守の森

みどり豊かだったころの目黒には、ならやま、くりやまなど、土地の人が親しみをもってぐやまと呼んでいた森がたくさんあったそうです。人々は丹精をこめてぐやまを育て、守っていました。また、祐天寺の森、碑文谷ハコバネの森、熊野神社の森などの(鎮守の森)など、大切な緑として伝える森もありました。そして現在の目黒。みどりの基本計画では、87の「めぐろの森」を街のみどりを育て、守る拠点としています。

- 駒場・駒場野公園ほか一帯
- 菅刈・西郷山公園一帯
- 東山公園一帯
- 中目黒公園一帯
- 駒沢オリンピック公園一帯
- 碑文谷公園一帯
- 東京工業大学一帯
- 林試の森公園一帯

「めぐろの森」

森からのお客様。



森の合唱隊



野鳥が水浴びができるようにと置かれた残イイトレイ。
ムクドリ

岡田の森。(中根)

まかし、このあたりは岡田の森と呼ばれ、風格のある母屋や長屋門は江戸時代に新造された。森の福を流れる香川には水車もあったという。

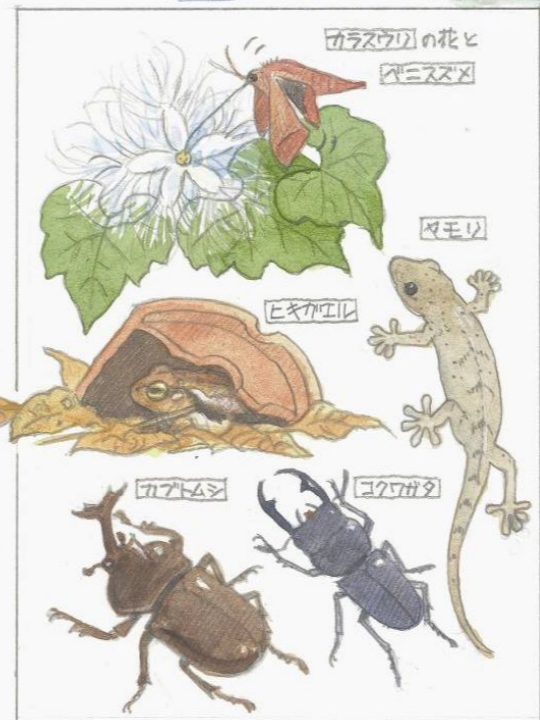


森の住人たち



こんな出会いも 森の出会い。コゲラがう羽のヒナにエサを運ぶ。冬にタカが来たことがある。大きな蛾やママユは、かつて見たが今では見かけなくなる。とても残念! (中根 2丁目通信員)

夜



アオバズク

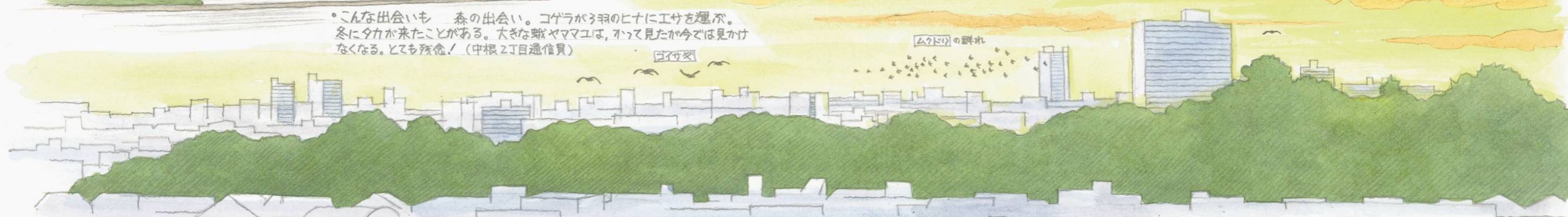
フクロ目 フクロウ科 全国の平地から山地の森で巣を作り、冬は南国へ渡る。昆虫類を食べる。1960年代までは目黒区でも繁殖していたらしい。街の樹木が大きくなればこの鳥が戻ってくるかもしれない。

こんな出会いも。1998年の6月、夜の公園からポッポー、ポッポーというアオバズクの声、数日間だけだった... (中根 自然通信員)

夜の森の観察会 こんな出会いも 毎年夏に駒場野公園で「行われる夜の観察会。赤いセロハンを懐中電灯に貼って、セミの羽化や、クヌギの樹液に来る虫たちを観察している (駒場野自然クラブ)」



ハシアトガラス



林試の森。東面700m、今に伝わる鎮守の森、旧農林省林野庁林業試験場跡地で、目黒区と品川区にまたがる12.1haの都立公園。